

CORDIA BAROQUE CONCERT

巨匠バルトルド・クイケンを迎えて

Barthold Kuijken

コルディア バロックコンサート



F.クーラン : 「諸国の人々“フランス人”」よりトリオソナタ ホ短調

G.P.テレマン : コンチェルト 一番 ト長調「パリ四重奏曲1730」

G.P.テレマン : 無伴奏フルートのためのファンタジア ニ短調

J.S.バッハ : トリオソナタ ト長調 BWV525 (フルート・ヴァイオリンと通奏低音に編曲)

S.L.ヴァイス : 無伴奏フルートのための組曲 ト長調 (1720年頃のヴァイスのリュート組曲を編曲)

G.P.テレマン : 新しい四重奏曲 第6番 ホ短調 (パリ四重奏曲1738)

バロック・ヴァイオリン
佐藤 泉

ヴィオラ・ダ・ガンバ
福澤 宏

チェンバロ
山縣 万里

[チケット取扱先]



Pコード
269158



株式会社ラプトサウンド
0797-84-5952
ticket@rapt-sound.com

[マネジメント・お問合わせ]

株式会社ラプトサウンド 0797-84-5952

[主催] 株式会社 **ワキタ**

[後援]



EMBASSY
OF BELGIUM
ベルギー大使館

2024 **11/3** 日
14:00開演 <13:00開場>

ワキタ コルディアホール

チケット料金 ¥5,000 全席自由

コルディア バロックコンサート CORDIA BAROQUE CONCERT

フルートが文字通り「木管楽器」であったバロック時代。そのオリジナル奏法の途絶えた現代に、真実を求める深い音楽性と真の求道者だけが持つ探求心によって、「木のフルート」の美しさを奇蹟のごとく甦らせたのがバルトルド・クイケン氏です。日本の文化と人々を愛し、ワキタコルディアホールの響きをこよなく愛するクイケン氏の当ホール4度目の公演には、愛弟子の皆さんとのアンサンブルをお届けします。音楽界の至宝たるマエストロの深い人間性を偲ばせる温かく澄んだ笛の調べは、聴く方々の魂に共鳴することでしょう。

バルトルド・クイケン Barthold Kuijken (フルート)



(1949年生まれ、ベルギーフランドル出身)は古楽界を牽引してきた著名な指導者。モダンフルートを学んだ学生時代、18世紀中頃のオリジナルフルート(キーが一つだけの木製トラヴェルソ)と出会う。そのトラヴェルソが生涯最高の師となり、17~18世紀の楽器と理論的・実践的な資料から独学で学ぶ。トラヴェルソ(およびリコーダー)のソリスト、教師、研究者、指揮者として、40年に亘り、歴史的なフルートおよび歴史的資料に基づく演奏を続けている。著書『The Notation Is Not the Music - Reflections on Early Music Practice and Performance』(インディアナ大学出版、2013)邦訳『楽譜から音楽へ』(道和書院2018)は、彼の研究、アイデア、音楽に関する芸術的考察をまとめた

一冊である。兄弟であるシギスヴァルト(ヴァイオリン)、ヴィーラント(チェロ、ガンバ)との「バロックからドビュッシーまでのフルートレパートリー」の伝説的演奏や高い評価を受けた録音のほか、グスタフ・レオンハルト、ロベール・コーネン、ボブ・ファン・アスペレン、エヴァルト・デメイヤー(チェンバロ)、ポール・ドンブレヒト(オーボエ)、ピート・クイケン(フォルテピアノ)などと共演。バロック・オーケストラのコレギウム・アウレウムやラ・プティット・バンドと数多くの演奏と録音の他、現在はインディアナポリス・バロック・オーケストラの芸術監督、指揮者。1976年から教鞭を取ったブリュッセルおよびハーグの王立音楽院のバロック・フルート科教授を2014年に退任。その後もヨーロッパ、アメリカ、日本各地で演奏活動やレコーディング、またコンクールの審査員やマスタークラス、講演会を続けている。2007年ベルギー初の芸術学博士号を取得。2013年、NFA生涯功労賞(米国)を受賞。2022年12月ワキタコルディアホールにて渡邊順生と共にJSバッハ作曲「フルートとチェンバロのためのソナタ集(全曲)」CDを録音。2024年3月Telemann Prizeを受賞。

Izumi Sato

佐藤 泉 (バロック・ヴァイオリン)



京都市市立芸術大学音楽学部を卒業。故岩淵龍太郎に師事。神戸市立室内合奏団にて活動後、1994年からブリュッセル王立音楽院にてバロック・ヴァイオリンをシギスヴァルト・クイケン、室内楽をバルトルド・クイケンに

師事。1996年NHK・FMに出演。1999年栄誉賞付きディプロマを取得。「ラ・プティット・バンド」などで活動後帰国。2005年から2年間東京藝術大学音楽学部古楽科非常勤助手を務める。2000年よりコンサートシリーズ「バッハからのメッセージ」を企画。

Hiroshi Fukuzawa

福澤 宏 (ヴィオラ・ダ・ガンバ)



オランダのデン・ハーグ王立音楽院卒業。ソリスト・ディプロマを取得。ヴィオラ・ダ・ガンバをヴィーラント・クイケン氏に師事。在学中より数々の室内楽のメンバーとしてオランダ、ドイツを中心にヨーロッパ各地で

演奏活動を行った。帰国後はソロ・リサイタル他、古楽関係の音楽祭やサイトウ・キネン・フェスティバル、NHK・FMリサイタル、名曲リサイタルなどに出演。またバッハ・コレギウム・ジャパンによる演奏会、レコーディングに数多く参加するなど、全国各地で多彩な活動を行っている。フォンテックよりCD「マラン・マレ/ヴィオール曲集第3巻」(2015年レコード芸術誌特選盤)をリリース。東海大学非常勤講師。2000年から2021年東京藝術大学古楽科講師を務める。

<http://hiroshifukuzawa.web.fc2.com/>

Mari Yamagata

山縣 万里 (チェンバロ)



東京藝術大学音楽学部楽理科および同楽科チェンバロ専攻卒業。在学中に安宅賞、卒業時にアカンサス音楽賞を受賞。同大学院修士課程チェンバロ専攻を修了後、ソリスト、通奏低音奏者、伴奏者として各地で広く活動

を続ける。ソロコンサート「ひとり琴」シリーズや、有志と共に主宰するグループ「通奏低音組合」をはじめとする、独自の企画公演を継続的に開催し、その多彩な内容が好評を博している。また古楽の分野を超え、複数の器楽・声楽アンサンブルにおいて主要メンバーとして定期的に活動を続けるかたわら、オーケストラ公演や様々な演奏家との公演・録音に、チェンバロやオルガンの通奏低音奏者として数多く参加する。

<https://magatamary.jimdo.com>

11/4(月・祝)

バルトルド・クイケン氏による マスタークラスを開催いたします。

詳しくは右記のブログをご覧ください▶



お問合せ:古楽工房
atelierkogaku2000@gmail.com

株式会社ワキタは
豊かな明日を拓きます

株式会社 **ワキタ**

東京証券取引所プライム市場上場
事業内容: 建機事業、商事事業、不動産事業
資本金: 138億2,187万円
<http://www.wakita.co.jp>



WAKITA CORDIA HALL

〒550-0002
大阪市西区江戸堀1-3-15 新石原ビル2F

- Osaka Metro 四つ橋線「肥後橋」駅5-B出口すぐ
- Osaka Metro 御堂筋線・京阪電車「淀屋橋」駅4番出口、土佐堀通を西へ徒歩7分

